

教科名	地歴	科目	地理探究	単位	4単位
-----	----	----	------	----	-----

### 1. 教科書および副教材・参考書

新詳地理探究（帝国書院）

新詳高等地図（帝国書院）

2023年版地理統計Plus（帝国書院）

新詳地理資料COMPLETE2023（帝国書院）

### 2. 授業の目標および内容

地理という科目は最も生徒自身の身近にある親しみやすい科目であり「楽しい科目」である。「暗記するだけの科目」ではない。授業を通して地理という楽しい科目にふれながら、地理的な視野を獲得していきたい。また、近年の国際社会の重要な課題ともなっている「持続可能な社会（SDGs）」についても環境問題など生徒の身近な事象を取り上げ、解決策を探求する実践例を取りあげたい。そこで1年間を通しての以下の目標を定めていきたい。

#### －目標－

地理的事象を、系統（単元別）地理的に、あるいは地誌的に考察し、地理的な見方や考え方を身に着け、実社会でも活用できる知識を習得する。

### 3. 試験について

	1 学期		2 学期		3 学期
定期試験	一次 5月	二次 7月	一次 10月	二次 12月	期末 3月
学力試験			第1回 9月		第2回 2月

#### 内容・難易度について

##### ① 定期試験：100点満点で出題

指定した範囲から、学習した内容についての確認問題を出題する。

##### ② 学力試験：100点満点で出題

基礎学力到達度テストと同様の形式、難易度で出題する。

### 4. 課題・補習について

適宜、必要に応じて行います。

### 5. 評価の視点

定期テストの点数を基本に、平常点（提出物、学力テストなど）を含め、総合的に評価点を算出します。

授業計画

学期	単 元	学 習 内 容	備 考
1	<p>地図と地理情報システム</p> <p>第3章 交通・通信と観光，貿易</p> <p>第2章 資源と産業</p> <p>第1章 自然環境</p> <p>第2章 資源と産業</p>	<p>1節 地球上の位置と時差</p> <p>2節 地図の役割と種類</p> <p>1節 交通・通信</p> <p>2節 観光</p> <p>3節 貿易と経済圏</p> <p>6節 第3次産業</p> <p>1節 地形</p> <p>2節 気候</p> <p>3節 日本の自然環境</p> <p>4節 地球環境問題</p> <p>1節 農林水産業</p> <p>2節 食料問題</p>	<p>※地理総合の復習</p> <p>まずは，地図の見え方から世界の国や地域の関係性を大まかに理解することからはじめる。生徒自身の身近に「地理」があることを気づかせる。</p>
2	<p>第4章 人口，村落・都市</p> <p>第1章 自然環境</p> <p>第5章 生活文化，民族・宗教</p>	<p>1節 人口</p> <p>2節 人口問題</p> <p>3節 村落と都市</p> <p>4節 都市・居住問題</p> <p>4節 地球環境問題</p> <p>1節 衣食住</p> <p>2節 民族・宗教の民族問題</p>	<p>「持続可能な社会（SDGs）」に向けての諸課題を中心にしながらの授業展開を実施していく。</p>
3	<p>第5章 生活文化，民族・宗教</p> <p>第2章 資源と産業</p>	<p>3節 国家の領域と領土問題</p> <p>3節 エネルギー・鉱産資源</p> <p>4節 資源・エネルギー問題</p> <p>5節 工業</p>	<p>次年度の地理選択・地理演習に繋がる授業展開を意識していく。</p>